

いつだって好奇心
手を伸ばせば
そこに本

子どもの読書活動

市では、子どもたちの本との関わりがさらに良いものになるよう「子ども読書活動推進計画第3次計画」を策定しました。

今回から読書活動推進計画の内容について紹介していきます。

☎社会教育課 ☎・☎(582)1142 ☎(581)2733

質問 第3次読書活動推進計画はどうして作られたの？

答 子どもと市民の読書活動をより豊かにするためです



計画書を手にする社会教育課職員

市は子どもたちの本との関わりがさらに良いものになるように取り組むため、「子ども読書活動推進計画第3次計画」を策定しました。

今後は計画に沿って、図書館や学校図書館などで、子どもたちが本に親しみやすい場づくりをします。

また、図書館司書やボランティア、保護者による読み聞かせなど、本のすばらしさを伝える人づくりを進めていきます。

そして、家庭や地域、図書館や学校園がつながって読書活動の大切さを市民の皆さまに広げていけるよう啓発・広報をしていきます。

幼少期からたくさん本に触れ、本に親しむ習慣を育て、そして、中高生になっても本が大好きな守山っ子になってほしいと考えています。



*緑の葉と水の雫をモチーフにした守山ブランドのロゴマークです。
小さな活動が種となって、大きく育つ「守山」をイメージしてタイトルをつくりました。

はなしのタネ

子育て世代が元気なまちを発信

ふるさとギフト 最高賞受賞の赤ちゃんを大切に包む「kokurumi」
市ふるさと納税の返礼品にも登録され全国へ



受賞を喜ぶ開発メンバーの皆さん

市のふるさと納税返礼品に、「日本ギフト大賞2020」で、見事「ふるさとギフト最高賞」を受賞した新生児用のおくるみ「kokurumi」が加わりました。

伝統工芸の襦紗を手掛ける老舗メーカーの清原 大晶さんと子育て中のママグループがコラボして開発した「kokurumi」は、出産祝いなどに好評とのこと。

清原さんは「襦紗とおくるみはまったく別分野だと思える人も多いですが、一人の父親として『パ

パだって育児を楽しみたい』という気持ちもありましたし、『大切なものを包む』という考え方は同じなので開発に違和感はありませんでした。各都道府県から選ばれた逸品のなか、琵琶湖をイメージした色、ママの願いをかなえる機能など、子育て世代が元気なまちだからこそ完成したギフトだと認めてもらえてうれしい』と話していました。



最高賞受賞のギフト「kokurumi」